



東京YMCA

2007 3月号

発行所 東京キリスト教青年会 発行人 新井廣和
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体的全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

4月開設へ準備着々

港区立芝浦アイランドこども園・児童高齢者交流プラザ



港区にある芝浦アイランド(JR田町駅徒歩8分)開発の一環である「港区立芝浦アイランドこども園・児童高齢者交流プラザ」の施設運営を東京YMCAが公設民営の指定管理者として行うこととなった。

施設は3月中旬完成を目前に急ピッチで建築工事が行われている。完成すると4階建てとなり、1・2階がこども園、3・4階が児童高齢者交流プラザとなる。

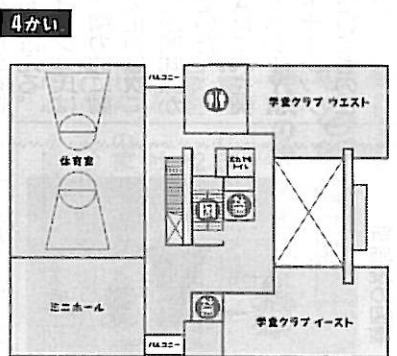
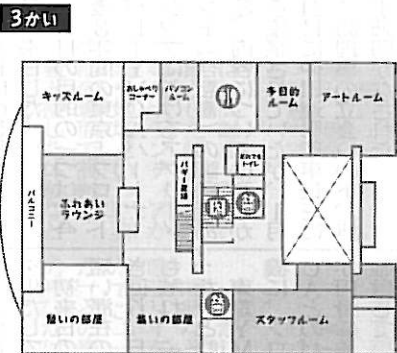
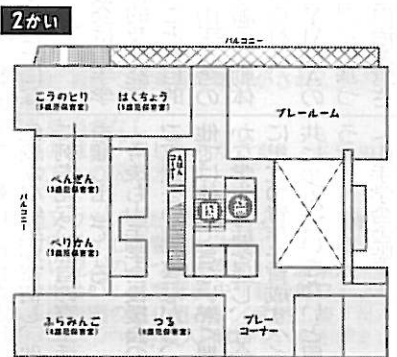
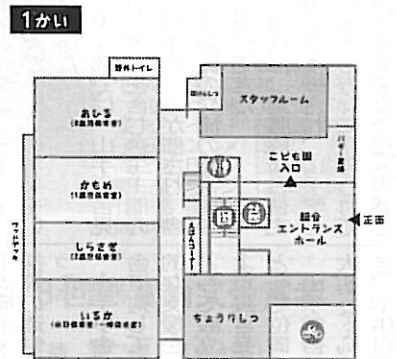
こども園は保育室が中心で、交流プラザは、キッズルーム、学童クラス、体育室、ミニホール、アトリウム、OAコーナー、憩いの部屋など多彩な機能を備えている。年末年始(12月31日・1月3日)以外の361日間開園される。

乳幼児から未就学児の保育と幼児教育を行い、一日の生活を基本にした集団での保育と教育を9クラスをもって展開する。通常平日の保育は、延長保育を含めると午前7時15分から午後10時までの開園となる。併せて休日保育、一時預り保育も実施する。幼稚園機能・保育園機能をもつ家庭と地域を結ぶ子育て支援の拠点として期待される。同時に港区としては働く女性や子育てにおける様々な状況に積極的に対応する拠点と捉えている。

児童高齢者交流プラザは児童館機能・福祉会館的機能を持っており、児童中心スペース、高齢者中心スペースを確保しつつ、交流プログラムを行う。大型児童センターとしては2つの学童クラブ運営を行い、放課後や休日の居場所や活動提供を行う。高齢者用の憩いの部屋が2部屋あり、60歳以上の方々を対象にし、教養・娯楽・趣味・健康づくり等の活動が行われる。そして、ふれあいラウンジやホール等にて児童と高齢者の交流プログラムも行われる。また、乳幼児用のキッズルームは、自由な子育て広場機能を持つ。

このように子育て支援、青少年健全育成、そして幅広い年齢・世代が交流する場となり、時代のニーズとYMCAミッションに合った動きとなっている。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。



児童高齢者交流プラザは児童館機能・福祉会館的機能を持っており、児童中心スペース、高齢者中心スペースを確保しつつ、交流プログラムを行う。大型児童センターとしては2つの学童クラブ運営を行い、放課後や休日の居場所や活動提供を行う。高齢者用の憩いの部屋が2部屋あり、60歳以上の方々を対象にし、教養・娯楽・趣味・健康づくり等の活動が行われる。そして、ふれあいラウンジやホール等にて児童と高齢者の交流プログラムも行われる。また、乳幼児用のキッズルームは、自由な子育て広場機能を持つ。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

こども園・児童高齢者交流プラザの2施設は、別な機能を持ちながらも相互に連携し、一体的な運営の場となる。

＝ 公 示 ＝

会員部運営委員立候補受付

会則第4章10条に基づき、会員部運営委員の立候補を下記により受け付けます。

- 資格：20歳以上の東京YMCA会員
- 任期：1年とし、再任を妨げない。但し、継続して3期を超えない。
- 受付期間：2007年1月25日～3月31日
- ※所定の用紙に記入の上、会員部に提出。
- 申込み・問合せ：会員部
- ☎03-3615-5568
- E-mail: kaiin@tokyo.ymca.or.jp

赤三角

年々全国的に進む幼稚園の定員割れが深刻化している。それに伴い、保育園の入所待機児童数の増加が問題となっている。

昨今、状況改善の為に「幼保一元化」が教育改革として必要となり、全国に広まりつつある。▼「幼保一元化」の利点としては、多様なニーズに対応して、保育園・幼稚園の区別なく子どもたちが伸び伸びと一貫した保育と幼児教育を受けることができ、働きながら子どもを安心して育てる環境を確保できるという点にある。

▼また運営方式としては、公設民営により地方財政への負担軽減となる。その担い手として東京YMCAが「港区立芝浦アイランドこども園」を担うことは大きな意味を持つ。港区の場合は、港区条例に基づき「こども園」となり、「幼保一元化」の機能を持つ。

▼「幼保一元化」は、ややもすると大人たちのニーズ、公的な効率に視点がかたまりやすい。しかし、その中で育っていく主人公は未来を背負った「子どもたち」であり、いかに一人ひとりの子どもたちが心豊かな人間として育んでいくことができるかが最も重要な課題となっている。▼幸いかな、それらのことは今まで東京YMCAが多角的に取り組みしてきた事業の一環として望むものであり、そのノウハウが大いに活かされ、YMCAらしい、ユニークな事業展開がなされることを確信するものである。

(江東幼稚園主任教諭 駿河幸子)